

会 議 録

会議の名称	平成 19 年度 第 2 回文化財審議会
開催日時	平成 19 年 9 月 11 日(火) 15 時 00 分～17 時 20 分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	渋谷一夫委員、関健二委員、木藤隆太郎委員、大澤綾委員、水宮恒委員、 山田友昭委員、横山亮英委員 事務局（寺沢生涯学習課長、会田副課長、加藤主査、堀主任）
欠席者	なし
会議次第	1．報告 (1)文化財保存団体連絡協議会役員会報告 (2)人間東部地区文化財保護連絡協議会行事予定 (3)大澤家住宅・表門修理工事補助事業完了報告 (4)その他 2．協議 (1)文化財と周辺環境について (2)その他
会議資料	緑地等の概況と文化財 文化審議会文化財分科会企画調査会審議の中間まとめ 市指定文化財「大澤家住宅・表門」修理工事について
公開・非公開	公開（傍聴人 0 人）
会議録確認	渋谷一夫委員

会議内容

あいさつ（議長）

1. 報告

(1)文化財保存団体連絡協議会役員会報告

6月27日（水）に開催された。

(2)人間東部地区文化財保護連絡協議会行事予定

秋の文化財めぐり、管外研修、資料館スタンプラリーについて

委員：管外研修先は富国強兵・日本の近代化に関わり歴史教科書にも必ず出てくる。市内にも近代化遺産として煉瓦樋門が市指定候補になっており、市指定文化財を審議していく上で是非視察したい。できるだけ多くの審議委員が参加できるように日程調整してもらいたい。

(3)大澤家住宅・表門修理工事補助事業完了報告

会議の最後に、完了状況について現地視察することとした。

(4)その他

2. 協議

(1)文化財と周辺環境について

事務局：前回の会議において、「文化的景観を含めた文化財保護に関する提言」に関わり、現在市として緑地・公園等になっている地域についてまとめた（資料について事務局より説明）。

委員：前回の会議でも話したが、文化財を「点」としてとらえるのではなく、自然や景観を含めた地域という「面」として保護していくことが必要である。これについては資料にあるとおり、文化財の課だけではなく他の課も関係するので、連携してもらいたい。

一昨年前頃から川越市では新河岸川舟運を一部で再現する運動を実施している。新河岸川改修前の河道である「古川」が富士見市とふじみ野市にわたって残されている。新河岸川を例にすれば、国・県でもさまざまな事業を実施しているので、一自治体で保護・活用の施策をとるのではなく、他市とも連携してやるべきである。

事務局：前回の会議において、委員から国の文化審議会の記事について紹介があったが、現在のところ審議の中間まとめとして、文化財を総合的に把握するための方策や社会全体で文化財を敬称していくための方策が検討されている。委員からの提言は、こうした流れとも関係するものであるので、文化財保護行政を進めていくうえで留意していきたい。

委員：市や地域が一体となって取り組める施策、観光関係の部署とも連携していく必要もある。

委員：資料にもあるように斜面林のような緑地や湧水は以前に比べて減少してきている。文化財と関わる場所も多く、是非残していけるようにしてもらいたい。

委員：富士見市として何をなすべきかを今後検討してもらいたい。

事務局：市内にある関連する文化財・景観・文化資源については、地域を熟知している各委員から今後紹介を受け、データを積み上げていきたい。

3. その他

終了後、大澤家・表門修理工事完了状況、水越門樋、山形樋門の現地視察を行った。

次回会議 12月11日(火) 午後3時～ (予定)

